

令和7年度 八代市ケーブルテレビ放送番組審議会意見への回答

【指定管理事業者:テレビやつしろ(株)】

『九州イチオシ！熊本』中学生によるボランティアガイドを体験 10分

東陽町の石工集団・石工の文化は八代でもあまり周知されていないのを感じていました。

そこで、東陽中学生によるボランティアガイドに声をかけたところ、快く番組制作に協力していただきました。生徒達が事前に地域の歴史を学習し、お客さんに楽しく分かりやすく試行錯誤しながら取り組む姿やコミュニケーションを行う姿を映像として残しておいて良かったと思います。

また、移動中の何気ない会話の中で、ボランティアガイドを務める子どもたちの地元への想いや、見聞を広める楽しさが伝わっていれば幸いです。

ご指摘いただいた「場所の位置関係」については、地図テロップを活用するなど、より親切的な演出となるよう改善を図り、視聴者により分かりやすくご覧いただけるよう努めてまいります。

今後も、地域の歴史や営みを映像として残し、幅広い年代の方々にご視聴頂けるようにより良い番組制作を目指してまいります。

『栗木六大神社の春の大祭』記念碑に刻まれた先祖を思う 20分

ここ数年、集落に伝わる小さな祭りを取材する機会が度々ありました。

それらは、これまでテレビや新聞で一度も取り上げられたことのない、神仏や祖先を祀る祭りです。

広い泉町では、同じ町に住んでいながら、他集落の歴史や文化を知らなかったという声をいただくことがあり、「自分たちの集落の祭りも取材してほしい」という要望も寄せられています。

そこには、祭りがあと何年続けられるのか、まとめ役が元気なうちに作法や習わし、言い伝えなどを記録として残してほしいという切実な思いがあります。

こうした番組では、人口減少や担い手不足といった厳しい現実も伝えなければなりませんが、その一方で、何とか祭りを維持しようと前向きに取り組む人々の姿を丁寧に伝えることが重要であると考えています。

私たちが今取材している出来事は、ごく身近な日常ですが、50年後、100年後には地域の貴重な映像資料となるはずです。

そのことを常に意識し、取りこぼすことのないよう取材を重ね、未来へ受け渡せる番組制作に今後も努めてまいります。

『合志野地区を見守り続けた』イチイガシありがとう 25 分

この番組を制作することになったきっかけは、一本の電話からでした。

「今度、地区の御神木を伐採することになったので、是非とも映像に残して欲しい。地区の人達もそれを強く希望している。」というお話があり、これは絶対映像に残さなければと思いすぐに取材を始めました。

御神木の映像を記録することはもちろんのこと、地区の人達の想いも後世に伝え、また加えて被災した坂本町の現在も知ってもらえればと思い制作しました。

委員の方々からは、「とても思い出のある木だったことが伝わった」「記録として後世に残ることは意義深い」という意見を頂き、番組制作者として最も感じて欲しい思いや編集の苦労が報われる有り難いお言葉でした。

何より完成した番組を見た地区の人達に大変喜んでいただき、感謝してもらえたことを嬉しく感じました。

撮影技術や編集技術が、まだまだ未熟で番組を制作するにあたり、迷いや苦労の連続ですが、今回いただいたご意見を励みに多くの人から喜んでもらえる番組を作り続けたいと思います。

自主制作番組に対する全体的なご意見に関しまして

各番組をご審議頂き誠にありがとうございます。まれに過去の映像に関する問い合わせをいただくことから、今後は番組のリスト化を進めたいと考えております。視聴者の皆様がより気軽にリクエストや過去映像の視聴できるよう利便性の向上に努めてまいります。

また、撮影した映像をより迅速に放送する体制の構築については、当社としても課題の一つであり、社内でも検討を進め、前向きに改善に取り組んでまいります。

委員の方々には、多くのご意見をお寄せいただき、心から感謝致します。

今後も、幅広く視聴者の方々に喜んでもらえる番組づくりに、取り組んでまいります。